

わたしをお使いください

校長 堀岡 満喜子



ミッション生の一年の始まりは、リトリート。

四月、中学生も、高校生もみんながリトリートをします。中学生は、今年、ロイヤルホテル能登で一泊しましたね。「リトリート」には、「避難所」という意味があります。

わたしたちの生活は、時にこんがらがります。毛糸が絡まってしまうみたいに、ひも解くのがやっかいなこともあります。そんな時、手を放して気晴らしをしてみたり、どうしたらひも解けるのかをよく考えてみたりしますね。日常生活から離れてみる。身を隠して、避難してみる。それが、リトリートです。

自分の考えを深掘りしてみる。他の人の言葉にじっくりと耳を傾けてみる。神さまはどうおっしゃっているかな…?と祈る。

リトリートの中で、「校長先生タイム!」という中学生のみなさんにお話をする機会を与えていただきました。その中で、「賜物と使命」というお話をしました。

ミッション生には「賜物」と「使命」がある。神さまに与えていただいたものは何かな?その賜物を用いてどんな使い方をしたらよいか?と考えてみる。

その時に、ヒントとなるマザー・テレサの祈りを今年も聞きました。「わたしをお使いください」は、YouTubeの動画にも載せられていますので、ぜひ、マザー・テレサの画像のものを検索してみてくださいね。

ミッション生であるあなたの手、足、言葉、心…それは、特別です。なぜなら、神さまがお使いになるために選ばれたからです。あなたのその手を、人を助ける手に。あなたのその心を、愛するものに。そう願われているからです。

この祈りを私たち自身のものとして、一緒に歌い、「わたし」を差し出していきたいですね!

マザー・テレサの祈り 「わたしをお使いください」



主よ、今日一日、
貧しい人や病んでいる人々を助けるために、
わたしの手をお望みでしたら、
今日、わたしのこの手をお使い下さい。

主よ、今日一日、
友を求める小さな人々を訪れるために、
わたしの足をお望みでしたら、
今日、わたしのこの足をお使いください。

主よ、今日一日、
優しい言葉に飢えている人々と語り合うために、
わたしの声をお望みでしたら、
今日、わたしのこの声をお使い下さい。

主よ、今日一日、
人というだけで、どんな人々も愛するために、
わたしの心をお望みでしたら、
今日、わたしのこの心をお使いください。

CLUB ACTIVITIES

軟式野球部

- ★加賀地区中学校体育大会
【Fブロック】 **優勝!**
県大会出場へ
- ★金沢市中学校
秋季新人競技大会 **3位**
- ★金沢市早朝野球協会
会長旗争奪
金沢市中学校野球大会 **3位**

陸上競技部

- ★全日本競歩輪島大会
【女子中学校3km競歩】 **5位** 3年 石塚 みのり
- ★石川県中学校体育大会
【共通女子3000m競歩】 **3位** 3年 石塚 みのり
- ★金沢市中学校陸上競技大会
【女子共通3000m競歩】 **2位** 3年 石塚 みのり
- ★金沢市民スポーツ大会陸上競技
【中学女子 1年800m】 **2位** 1年 宮下 夕佳

英語

- ★高円宮杯全日本中学校
英語弁論大会
【石川県大会】 **入賞** 3年 石塚 みのり
入賞 3年 谷屋 希羽

書道

- ★小中学生の税についての作品
【書道の部】 **優秀賞** 3年 藤田 結香
- ★金沢市小中学校合同書写書道展
優秀賞 3年 藤田 結香
優秀賞 2年 越田 道秀

演劇 コンクール

★★★

7/12(水)

1年 アナと雪の女王



2年 夏の庭



今回の2年生の劇は、『夏の庭』という小説を元に作ったものですが、小説自体が非常に長かったため台本も長めになりました。セリフもたくさんあったのでなかなか覚えきれず、舞台のセッティングにもかなり時間がかかり、初めて通したときは、制限時間45分の倍、1時間30分もかかってしまいました。

これをどうやって時間内に収めるかが、大きな課題となりました。その課題について、私も監督としてキャストとして一生懸命考えましたが、クラス全員が「ここをこうしたらいいんじゃないか」と真剣に話し合い、場面をカットするなど、変更を重ねていきました。練習するにつれて、舞台転換もだんだん速くなっていきました。

本番では、大道具の塀が倒れたり着替えを間違えたりするという大きなハプニングもありましたが、慌てずに一人ひとりが考えて対応し、今までで一番良い演劇をすることができました。キャスト、照明、音響、幕、大道具、小道具が力を合わせて練習に励んだ成果として、「時間制限」という大きな課題を乗り越え、45分以内に終わることができました。

来年は中学校最後の演劇コンクールになります。三年間の中で最高の演劇になるよう、気合を入れていきます。

2年 松本 彩花

3年 レ・ミゼラブル

最優秀賞



ミッション祭

9月1日(金)・2日(土)

〈テーマ〉 幼き介護者

～深めよう

ヤングケアラーへの
理解～

今年のテーマは「幼き介護者～深めよう ヤングケアラーへの理解～」でした。ヤングケアラーは中学のクラスに1、2人はいるとされています。しかし、あまり認知されておらず、支援策も整っていません。私達にできることは少ないですが、彼らのことを思い行動することができます。共同制作では、ヤングケアラーの幸せと健康を祈り、折り鶴アートを作りました。全校生徒・先生で協力して、一人80枚以上の鶴を折りモザイクアートを作成しました。時間がかかる大変な作業でしたが、完

成した物を見た時には達成感で胸がいっぱいになりました。

また、中学校ではゲームコーナーの運営と模擬店としてソフトクリームの販売を行いました。売上利益は日本ケアラー連盟への献金として捧げられました。より過ごしやすい社会に向けて使われることを願っています。

私はミッション祭を通して、自分たちができることは何か模索する大切さを学びました。この経験を心に留めてこれからに繋げていきたいです。

2年 片山 深森



運動会

9/22(金)

赤団

なぜ僕が団長になったかと言うと、私が中学1、2年生のときに団長がかつこよく、特別な存在だと感じたからです。しかし、実際に自分が団長になってみると、とても大変でした。競技のメンバー決めから応援合戦の企画まで、短い時間で準備し完成させる必要があったからです。結果、総合優勝はできませんでしたが、応援合戦は優勝することができました。この成果を残せたのは副団長やチームメイトのおかげです。もし、すべてのことをみんなの協力なしで準備していたら、ここまでは来れなかったと思います。この運動会を通して、仲間の必要性や大切さを学びました。僕にとって団長になったことは人生において良い経験でした。

団長 3年 藤井 ルカ



青団

総合優勝

私が団長に立候補した理由は、今までの団長の姿を見て、私もやってみたいと思ったからです。1、2年生のころ、私たちのことを引っ張ってくれた、特に女子の団長の姿がかっこいいと思っていました。実際に団長をしてみると、応援合戦の音楽を探したり、ダンスの振り付けを考えたりするのがとても大変でした。曲が見つからず困っている時に助けてくれた副団長の4人や、ダンスを覚えてくれた青団の仲間のおかげで、運動会当日を迎えることができました。当日は最後の最後まで接戦でした。どちらの団が勝ってもおかしくない状況でしたが、青団全員が「勝ちたい」という一心で最後の団対抗リレーを走り、結果、総合優勝することができました。閉会式で表彰されたとき、「このチームの団長になれてよかった」と心から思いました。青団の仲間や先生、たくさんの人に感謝の気持ちでいっぱいです。

団長 3年 春名 華帆



3年長崎・福岡修学旅行

10/24(火)~27(金)

1日目

小松空港→福岡空港
●東八幡キリスト教会
●長崎稲佐山「世界(新)三大夜景」
●四海樓で夕食

2日目

●活水中学校・高等学校 訪問
礼拝・学校交流
●原爆遺構フィールドワーク
浦上天主堂・平和祈念像など
●原爆資料館
●自主研修(長崎市内)

3日目

●有馬キリシタン遺産記念館
●世界遺産「潜伏キリシタン関連遺産」フィールドワーク
原城跡本丸など
●ガラスの砂浜・天正遣欧少年使節顕彰の像
●ハウステンボス

4日目

●自主研修(福岡市内)
福岡空港→小松空港



私たちは、3泊4日で長崎県と福岡県へ修学旅行に行きました。

1日目は、東八幡キリスト教会や稲佐山に行きました。教会では、奥田知志牧師の話を聞き、「助けて」と言ってもいいことや挑戦することが大切であることを学びました。稲佐山ではとても綺麗な長崎の夜景をクラスの人々と見ることができて心に残りました。

2日目は、長崎市にある活水中学校の方々に原爆遺構を案内してもらったり、原爆資料館に行ったりしました。戦争の悲惨さをよく知ることができた貴重な時間でした。

3日目は、有馬キリシタン遺産記念館や原城跡に行きました。キリスト教信仰の歴史を詳しく知ることができました。午後からはハウステンボスへ行き、アトラクションに乗ったりお土産を買ったりと心から楽しむことができました。

最終日は福岡県に戻り自主研修を行いました。福岡の街でそれぞれ好きなものを食べたり、買い物をして特別な時間になったと思います。

3泊4日、楽しい思い出がたくさんできました。新しく学べたことも多く、このクラスで行けて本当によかったと思います。

3年 前田 花希



国際理解教育 Let's speak English! & イッテム!

今まで学んだ英語を使う機会や金沢を訪れている外国人の出身国についての学びを深めるため、実際に自分たちで行動してみました。



1 事前学習

- 金沢や北陸学院、自分自身について書いた和風カードを手作りしました。
- 当日想定される具体的なやり取りや観光地の紹介を英語で練習しました。



2 2月16日(金)決行!! 金沢市内各観光地へ

- グループ毎に分かれ外国人観光客に出身国について聞いたり、自分たちのことを伝えたり英語で会話をしました。
- 別れ際に手作りの和風カードを渡しました。



3 事後学習

- 出会った外国人の出身国について、さらに調べてレポートを作成しました。



最初英語が伝わらなくて戸惑ったけれど文字を見せながら言ったり、ゆっくりはっきり言ったりしたら伝わってよかった。話しているうちに慣れてきて最後の方は落ち着いて会話できた。最後に家族の健康と幸せを願うお守りをもらって嬉しかった。外国人と話す機会はなかなかないのでいい経験になった。

1年 安田 芽生

はじめは話しかけるのにとても緊張したけど、お話しした人がとても優しくかったので、焦らずゆっくり話せてよかった。外国人観光客の方にカードを渡すと笑顔でもらってくれたので嬉しかった。英語で街の人に話したことが今までになかったので、良い経験になった。

1年 木元 希和

最初は緊張してなかなか話しかけれなかったけれど、話してみたら、私もわかるようにゆっくり話してくださって、意外とどんな英語力でも大丈夫なんだなと安心することができた。この先、海外に行くことがあっても、勇気を出してどんどん話しかけて英語を話して英語を使っていこうと思った。

2年 鹿島 玲良

自分から声をかけて会話が繋がったときはとても嬉しかった。他国の人々と喋る楽しさや新たな発見ができていろんなことを学んだ気がした。

2年 犬塚 智輝



宗教委員会活動

この一年を振り返ると、たくさんの方と関わることができたということが最初に思い浮かびます。

宗教委員会が行った活動の中で特に印象に残っている行事は、収穫感謝礼拝と花の日礼拝です。この2つの行事は、学校外の人と関わることができる行事です。今年度の収穫感謝礼拝は、学校の近くにある梅光児童園、聖ヨハネこども園、こだつのクローバーに宗教委員会とボランティアに参加して下さった皆さんで訪問し、全校生徒で持ち寄った食品を寄付しました。訪問先の施設では、職員の方に金沢のキリスト教の歴史や、地域での働き、北陸学院との関係についてお話を聞きました。金沢に来た宣教師が経験した当時の苦労についてなどを知ることができとても勉強になりました。また、「ありがとう」と感謝の言葉をいただき、とてもあたたかい気持ちになりました。

学校では、毎日の礼拝や宗教行事を通して、普段から神様からの恵みを分かち合える喜びを共有できますが、学校以外でもこのような経験ができて、楽しく活動ができました。

この一年で宗教委員長として多くの心に残る経験ができたことは自分自身の成長にも繋がったと思います。これまでに学んだことを活かして積極的にボランティアなどに参加していきたいと思います。

3年 米谷 ひかる

